

理は寧ろ當然といはねばならぬ。醫師會側が飽く迄片々たる主張を固執するならば、自らの利益のため、社會公衆の厚生、福利の増進を阻止するものこの非難を甘受せざるを得ないであらう。

#### △農業改革の漸行（國民）

此際我等は、當局に對し從來の行懸りを一切清算して、第一に、内地自給方針を一掃し、日滿外地を一體とする農業政策の確立を實現し、さらに之れを不可分の關係にある内地農業改革の漸行を希望して止まない。内地農業改革の漸行に當つては、或ひは一時農業生産の減退を避け得られぬかも知れぬ。だが國民は拱手して事態の悪化を傍觀するよりも寧ろ一時の苦痛を忍んでも將來の安定を遂げてあらう。政府も、專任農相の設置問題で徒らに無意味な抗争を續けるよりも現下農業問題の核心がどこにあることを速かに悟るべきである。

#### △其他、「入試の一考察」（都）

内閣情報部一〇三 情報第一號

雲南日本語放送（九三〇）

（東京都市遞信局聴取）

一、東京からの情報によりますと野村が外務大臣となると共に谷正之を外務次官に任命し又松岡洋右を駐米大使に任命せんとしてゐる様子でありまして日本は之によつて外交陣容の立直しを試みんとしてゐるものと考へられますが之に對する吾人の見解を述べて見たいと思ひます。

今を距る八年前の九月十八日即ち滿洲事變の始まつた當時日本の外務省に注意人物が二人居りました、その一人は亞細亞局長の谷正之であり他の一人は情報部長の白鳥でありますこの二人は共に外交官出身でありながら何時の間にかフアシストに感染して居り野村の下に外務次官になつた谷は日本の外交を死の道に導き入れるのではないかと思はれるのであります。

滿洲事變後白鳥は駐伊大使となり、谷は駐滿參事官となつたのであります。

谷は滿洲國駐在の參事官であります。谷は駐滿大使は關東軍司令官でありましたから谷は事實上滿洲國の外務大臣をやつてゐたのであります。

今度の中日事變が勃發するに當時の川越大使が軍閥に服しないで時として軍部に不利な議

論をなすので軍部は再び谷を起用して上海に赴任せしめたのでありますが、その間谷は列強の感情を害して駐佛大使に任命を受けたにも拘らず遂に佛國政府のアグレマンを得る事が出来なかつたのであります。

滿洲事變當時の外交の失敗を再び繰り返さない事に汲々としてゐる日本が亞細亞局長時代に營時の有田外相と一大衝突をなした谷、日本軍閥の傀儡谷を外務次官に据えた事に對しては、その邊の内情を知る歐米諸國は頗る不安を感じつゝあるのであります。日本は外交は又復失敗を重ねる事でありませう。

次に松岡洋右に就て述べれば彼は十四才にしてアメリカに留學し中學大學共にアメリカで卒業し英語も相當に流暢に喋るのであります。が例の滿洲事變に關する國際聯盟脱退問題にたづさわつた一人であり其後は滿鐵總裁におさまつて自己の勢力扶植に専念し首相候補にも數へらるゝ政治界では先大人物であります。が曩の米日通商條約廢棄通告が日本に非常の衝動を與へ日本政府當局は周章狼狽の末ドウシヨウかこ頭痛鉾卷の体で來年の一月廿五日には米日兩國は無條約状態に陥ることとなり軍需品の買入が出来ぬ事となれば日本は致命的打撃を蒙ることとなるので結局日本はアメリカの御機嫌取りの方策に出で松岡の如きアメリカ育ちで比較的大人物を駐米大使に任命せんとする肚に相違ないのであります。

然もアメリカ人は巴里の平和會議の際に松岡がアメリカ委員をだました事を今尙記憶して警戒して居り米日外交關係の悪化に備へて既に大艦隊を太平洋に廻航して居るので松岡が大使になつて行つても對米外交は必ず失敗に歸する外はないのであります。

内閣情報部一〇三

情報第二號

香港英語放送 (ダベントリイ中繼)

九月三十日

(東京都市遞信局取)

一、(佛軍部當局發表)

佛軍は西部國境線のザールの東方、獨領奥深く迄進軍し、既に今日迄に五十ヶ村を占據して更に進軍を繼げてゐる、一方獨軍側は占據地點を奪還すべく苦闘してゐるが其の效果更に無しと云ふ。

二、ソ聯及エストニアとの間に締結された條約はソ聯にとつて一方的に有利なるは言を俟たず、其の根本目的はバルト沿岸に自己の地歩を確立して其所に軍需基地を求むる爲にあり、謂はゞエストニアは強制的に同條約に調印せしめられたのであると。

十月一日

一、今朝英國新聞の論調は獨ソ兩國のポーランド分割は二十世紀の今日國際法を無視した一方的聲明である。英國政府は自己の利益の爲めに戦ふものにあらず斯る國家間の主權を犯さんとする不法行爲に對して斷乎其の不當を是正せんとするものであると述べてゐる。尙今朝十一時三十分を期して國內のローマカトリック教會では特別の禮拜を行ひ英國の戦勝祈